【山形県大石田町】

④ 1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとする ICT 環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領及び中央教育審議会答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～』（令和3年1月）及び大石田町の教育基本目標「誇りと絆と向上心を育む大石田学園」を受けての基本方針の一つである「学ぶ楽しさやよさを実感し、いきいきと学びに向かう人」を具現化していくためには、個の学びの保障と学びの交流を一体的に進めることが求められており、ICTの効果的利用の果たす役割は重要である。また、当町が小中一貫教育を構築していくうえでも、学びの系統性を共有したり最適化された学び直しを行ったりするための有効手段として、AIドリルや教育ICTツールを活用する意義は大きいと考える。

2. GIGA 第1期の総括

令和2年度に1人1台端末としてiPadを450台導入。ネットワーク環境、電子黒板の整備も行い、令和6年度に更なる整備、更新を行った。授業や課外授業、家庭学習においてiPadを使用することが基本となり、高い利用率を維持している。しかし、学校や教職員によっては活用に差が生じている部分があるため、ICT支援員のサポート協力やオンライン研修等を実施するなどして、第2期に向けて全体的な意識の向上を図り、あわせて研究も進めていく。

3. 1人1台端末の利活用方策

- ① 端末の整備・更新・修繕を計画的に行い、児童生徒が1人1台端末を利活用できる環境を維持していく。
- ② 定期的で開催している大石田町 ICT 教育推進委員会において、使用する学習アプリや AI ドリルの検討を実施し、学校の現状に合わせて最適なソフトを導入する。また、ソフト上で取りまとめた学習データを活用し、児童生徒一人ひとりに対してより質の高い学習指導を行う。
- ③ 端末上で回答できる健康観察等を実施し、教職員がダッシュボード上で可視化することで、児童生徒の体調の変化や心の不調を早期に発見できるシステムを導入する。また、不登校や別室登校の児童生徒、学習への困難さを抱えている児童生徒等の学びの保障の手段としても、1人1台端末を有効に利活用できるよう環境を整えていく。